

(令和3年12月)

種類	市況の概要
(青果部の動向) 青 果 全 般	<p>12月の総入荷量は、寒波到来の影響等により入荷が減少し、前年同月比で8%下回った。総取扱金額は、新型コロナウイルス感染拡大により業務需要が低迷した前年から回復したため、4%上回った。年明け以降も厳しい寒さが続く見込みであり、一部の品目においては品薄感が強まることが予想される。</p> <p>1月は、野菜では、はくさいや青ねぎ等の葉菜類が目立ち、近郷野菜では、はたけ菜や花菜の入荷が増加する。果実では、伊予かんやはっさく等の晩柑類が増加し、いちご類も前月に続き増加傾向となる。</p>
野 菜	<p>野菜全般の入荷量は前年同月比で8%下回り、単価は14%上回った。</p> <p>根菜類の入荷量は前年同月比で8%下回り、単価は11%上回った。</p> <p>葉菜類の入荷量は前年同月比で7%下回り、単価は8%上回った。</p> <p>果菜類の入荷量は前年同月並みであったが、単価は安値で推移した前年同月と比べて11%上回った。</p> <p>土物類の入荷量は前年同月比で13%下回り、単価は41%上回った。</p>
果 実	<p>果実全般の入荷量は前年同月比で8%下回り、単価は9%上回った。</p> <p>かんきつ類の入荷量は前年同月比で8%下回り、単価は18%上回った。</p> <p>りんご類の入荷量は前年同月比で9%下回り、単価は21%上回った。</p> <p>柿類の入荷量は前年同月比で24%下回り、単価は33%上回った。</p> <p>いちご類の入荷量は前年同月比で32%下回り、単価は28%上回った。</p> <p>メロン類の入荷量は生産量の回復により前年同月比で25%上</p>

	回ったが、単価は安値で推移した前年同月と比べて11%上回った。
--	---------------------------------

主要品目（野菜）	市況の概況
【根菜類】	
長だいこん かぶ	徳島、和歌山、鹿児島、長崎、千葉などから入荷した。入荷量は前年同月比で18%下回り、単価は5%上回った。 京都を中心に滋賀からも入荷した。入荷量は前年同月比で3%下回り、単価は6%上回った。
西洋にんじん	鹿児島、長崎、熊本、鳥取、愛知などから入荷した。入荷量は前年同月比で7%上回り、単価は14%下回った。
【葉菜類】	
はくさい キャベツ	茨城、兵庫、和歌山、滋賀、岡山などから入荷した。入荷量は前年同月比で8%下回り、単価は5%上回った。 愛知を中心に茨城、滋賀、兵庫、大阪などからも入荷した。入荷量は前年同月比で7%下回ったが、単価は需要が低かったため14%下回った。
ほうれんそう	京都、福岡を中心に茨城、滋賀、鳥取などからも入荷した。入荷量は前年同月並みであったが、単価は4%下回った。
レタス	兵庫、長崎、徳島を中心に愛媛、岡山などからも入荷した。入荷量は前年同月比で8%下回り、単価は26%上回った。
【果菜類】	
きゅうり	宮崎を中心に高知、滋賀、徳島、鹿児島などからも入荷した。入荷量及び単価はともに前年同月並みであった。

なす	高知を中心に岡山、愛知、熊本からも入荷した。入荷量及び単価はともに前年同月並みであった。
とまと	熊本を中心に福岡、滋賀、三重、京都などからも入荷した。入荷量は上旬に品薄であったものの中旬以降は好天により回復したため前年同月比で9%上回ったが、単価は下旬以降に需要が高まったため18%上回った。
ピーマン	宮崎を中心に高知、韓国、鹿児島、茨城などからも入荷した。入荷量は前年同月比で17%下回り、単価は6%上回った。
【土物類】	
ばれいしょ (メーケイン含む)	北海道を中心に長崎からも入荷した。入荷量は前年同月比で19%下回り、単価は39%上回った。
たまねぎ	北海道を中心に兵庫、アメリカ、中国、佐賀からも入荷した。入荷量は前年同月比で17%下回り、単価は107%上回った。

主要品目（果実）	市況の概況
普通みかん	和歌山を中心に福岡、広島、大分、香川などからも入荷した。入荷量は前年同月比で4%下回り、単価は16%上回った。
富士 (サン富士含む)	青森を中心に長野、岩手、秋田、山形からも入荷した。入荷量は前年同月比で13%下回り、単価は25%上回った。
王林	青森を中心に岩手からも入荷した。入荷量は不作により落ち込んだ前年同月と比べて122%上回ったが、単価はりんご全体の品薄高により14%上回った。
富有柿	福岡を中心に奈良、鳥取、京都、和歌山からも入荷した。入荷量は前年同月比で34%下回り、単価は21%上回った。
いちご	福岡、熊本、大分、長崎、佐賀などから入荷した。入荷量は前年同月比で32%下回り、単価は28%上回った。
アールスメロン	熊本、静岡、高知、長崎、オーストラリアから入荷した。入荷量は生産量の回復により前年同月比で15%上回ったが、単価は安値で推移した前年同月と比べて15%上回った。